



県平和委員会・第3回理事会開催 5/11(土)

「県平和委員会が、平和会館から移転することに 関する討議資料(案)」が提案される!

定期大会の素案や当面の活動を検討する第3回理事会が5月11日(土)、水戸共同ビルで開催されました。日本平和委員会書記局長の岩月康範さんも参加し、「6月初旬に予定されている県平和委員会定期大会は、入会者を増やして迎えよう」「800人を回復する意思統一をする」「複数で対象者を訪問すると成果が出ている」と期待を込めて話されました。

理事会では、常陸大宮市で起きている来年度の中学校教科書採択に関する「単独採択地区」を、市長及び教育長が画策した意図について話題になりました。また、常陸太田平和の会が自衛隊への個人情報提供問題に関して首長懇談を要請したところ、「(一覧表を作成して自衛隊へ)情報提供を継続する」と「文書回答」があったことも明らかにされました。

教科書問題と個人情報提供問題に通底しているのは、「戦争する国」に必要な、①法律の整備(集団的自衛権の行使容認等)、②軍事力(安保3文書=敵基地攻撃能力の保有等)、そして③人づくり(自衛隊員の確保と愛国心教育)だと、木村泉代表理事が指摘しました。

また東海第二原発の再稼働に関する「県民投票条例制定」を求める署名運動をすすめる「受任者」がまだ目標人数に達していないことや、航空自衛隊百里基地において7月中にドイツ空軍、スペイン空軍が初めて共同訓練に参加することも報告されました。

新たな提案として、「県平和委員会が平和会館から移転することに関する討議資料(案)」について説明されました。「平和会館(元病院)は、築60年以上となっており、全体が老朽化し、駐車場も狭く利便性が悪い状況にあります。県原水協などが1984年に入居し、今年で40年になります。現在は、毎月5万7千円の家賃を払っています。今後10年先、20年先を見据え、移転を提案します。

移転場所(案)として、水戸共同ビル4階東側(約22坪)を検討しています。家賃は3万円以下の予定です。水戸共同ビルの所有者は、日本共産党県委員会です。

理事会では、「所有者」についての意見も出されましたが、今年度の定期大会に「平和会館からの移転」を提案することが了承されました。別に「討議資料」を送付しますので、各平和の会でご検討ください。

谷萩陽一
弁護士を
招いて!

「国会議員の任期延長改憲 その危険な本質」

【つくば平和の会 学習会】

つくばでは、2024年4月27日(土)14時から16時まで、コリドイオ(つくば市民センター)で、谷萩陽一弁護士(水戸翔合同法律事務所長)を講師に招き「国会議員の任期延長改憲 その危険な本質」の学習会を「9条改憲NO!市民アクションつくば連絡会」主催で行いました。

自民党を中心とする改憲勢力は、米国の戦争に日本を参戦させたいため、国会議員の任期延長改憲を画策。具体的には、国会議員の任期延長の根拠となる緊急事態の中に武力攻撃事態(戦争)を書き込み、有事に国会議員の任期がない場合、任期延長して内閣に一任、自衛隊対応の戦争を遂行できるようにする。

本音は9条明文改憲したいものの国民の反対で直ぐには無理、国会議員の任期延長改憲を隠れ蓑にした実質的9条改憲であるということがわかりました。

政府の行為による戦争の惨禍が再び起こらないために、国民主権を発揮して、平和憲法を守らなければと強く思いました。

《つくば平和の会事務局長 荒井洋一》



自衛隊には国を守る任務はありません。政府のいう「国民の生命と財産を守る」はウソです。自衛隊は国民の味方ではありません。諷刺化されないよう。by平和の敵と闘う市民

【はみだしコラム】



定期テスト帰りの

「沖縄連帯全国一斉行動」に参加!

女子高生が立ち止まって、署名に協力!

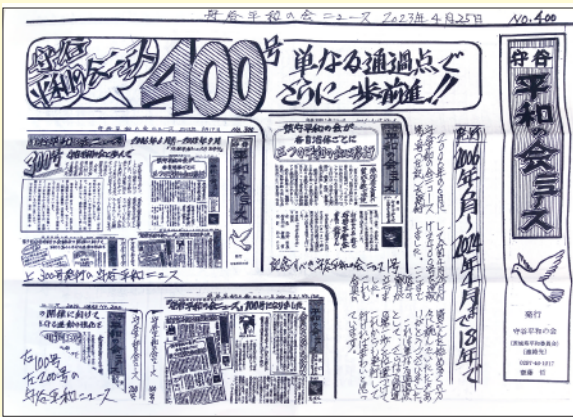
5月15日(水)は、沖縄が1972年に日本に復帰して52年目となります。復帰に当たって沖縄県民は、「基地のない平和な島」を願いましたが、「いまだに達成されていない」どころか在日米軍基地の負担はますます重くなっています。名護市・辺野古には、地方自治や県民の反対を一蹴して米軍新基地建設が強行されています。さらに陸上自衛隊駐屯地が宮古島、石垣島、与那国島に設置され、ミサイ

ル配備など「戦争準備」が急速にすすんでいます。日本平和委員会は5月15日に「沖縄連帯全国一斉行動」(沖縄を再び戦場にすな)を呼びかけました。県平和委員会は、水戸駅南口にて街頭宣伝を1時間おこないました。午前中で定期テストが終わったという女子高校生2人が立ち止まって、沖縄戦の惨状などについて熱心に耳を傾けていました。スピーチの後、2人に声を掛けると「殺傷武器輸出反対」署名もしてくれました。

おめでとう! 守谷平和の会会報、400号を達成!

手書きで18年間・月3回発行を継続!

守谷平和の会の機関紙「守屋平和の会ニュース」は、2006年6月15日に第1号が発行されました。18年前です。B4版を横にした形で、記事は3段構成で縦書き。当時会長だった斎藤哲さんが手書きで発行しました。見出しも本文も斎藤さんの手書きです。その一方で、写真も取り入れるなど、とても読みやすい構成になっています。日本平和委員会や県平和委員会のかわり版と同様、月3回発行です。斎藤さんはそれを18年間も継続し、24年4月25日号で、めでたく400号を達成したものです。



ニュースは、全国でもこれだけのようです。とてもユニークなニュースです。

斎藤さんは400号の記念号の見出しを「単なる通過点で、更に一歩前進」と書きました。記事には「会員の皆さんを始め多くの方々に読んでいただき、ありがとうございました。これは単なる通過点として、さらなる前進の第一歩と

数年前、日本平和委員会の「各地の平和ニュース」の部で、特別賞も受けています。現在、「手書き」の平和の会

位置づけて、これからも発行していければ幸いです」と述べています。これからも意気軒高で発行しようという決意がよくわかります。

手書き平和ニュース400号達成、本当におめでとうございます。



いばらき原発県民投票の会 憲法フェスでシール投票!

いばらき原発県民投票の会は5/3の憲法フェスにて「東海第二原発の再稼働」についてシール投票を行いました。結果は「知事や県議会に任せる」0、「県民投票で意思表示」116、「わからない」1でした。署名開始時期は原電の安全対策工事の工程を考慮し決定します。引き続き、受任者拡大にご協力をお願いします。



「百里・憲法9条の碑」建立第6回実行委員会(報告) 「平和公園内に井戸を掘ろう!」で合意!

「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会は、第6回実行委員会を、4月23日(火)に10団体12人の参加で開催し、①賛同者名簿の発行、②賛同金の残金の使途、③実行委員会の今後などについて協議しました。

「9条の碑」は2月11日の初午まつりの日に、除幕式を行い、550人の参加者にお披露目できました。賛同金は建立に必要な資金を大幅に超過する3,647,376円になり、残金は約80万円です。これは、「百里基地反対運動」のために活用することで合意しました。

活用の案として、トイレの改修、井戸の掘削、やぐら(展望台)の改修などの案が出されました。協議の結果、現地で最も必要とされている「井戸」の掘削を第一に検討する。業者から見積もりを取り、次回の実行委員会で協議し、決定することとなりました。実行委員会は、これらの残金の活用が定まった段階で、解散を協議することとしました。

(はみだしコラム) 1000号を超えたいと思います。ところで、妻は999号にはちょっとしたイタズラをしました。気がついた人、いないだろうなあ。もし分かったらさらせたいなあ。何も出ません(笑)